

# 酒粕給与により脂肪に特徴のある豚肉が生産できる

福島県農業総合センター 畜産研究所 肉畜科

## 1 部門名

畜産－豚－畜産栄養

## 2 担当者名

青山勝也、佐藤尚史、小林準、真船優美、佐藤東、石川雄治、原恵

## 3 要旨

酒粕は豚の飼料として有用であるが、豚の成長に必要なリジン含量が不足している。

そこで、リジン含量が充足するように酒粕に飼料用米と醤油粕を混合した酒粕ペレットを製作した(図 1)。配合飼料の 10%を酒粕ペレットで代替給与した豚は発育に問題がなく、肉の脂肪酸組成が変化した(表 1)。

(1) 酒粕、飼料用米および醤油粕を 4:4:2 の割合で調製した。

(2) 調製期間は、1 日間だった。

(3) 製造費は 55.5 円/kg であった。

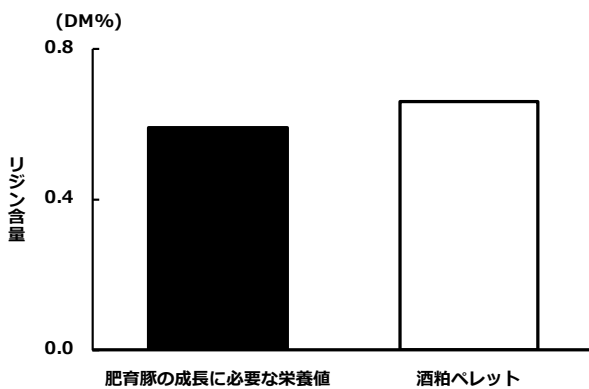
表 1 背脂肪内層の脂肪酸組成

			(%)
	配合飼料のみ 給与区 (n=8)	酒粕ペレット 給与区 (n=8)	t 検定
ミリスチン酸	1.3 ± 0.1	1.3 ± 0.1	NS 注1)
パルミチン酸	25.6 ± 0.6	26.1 ± 1.3	NS
パルミトレイン酸	1.5 ± 0.2	1.8 ± 0.3	NS
ステアリン酸	<b>17.1 ± 0.9</b>	<b>15.8 ± 1.2</b>	* 注2)
オレイン酸	40.7 ± 0.6	41.3 ± 0.5	NS
リノール酸	7.8 ± 0.4	7.8 ± 0.0	NS
α-リノレン酸	<b>0.9 ± 0.1</b>	<b>1.1 ± 0.1</b>	*

平均±標準偏差

注1)NS：有意差無し。

注2)\*：P<0.05。



注)肥育豚の成長に必要な栄養値は日本飼養標準豚(2013年版)より引用

図 1 酒粕ペレットのリジン含量

## 4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成 28～令和 2 年度

(2) 研究課題名 豚の安定生産・高付加価値化技術の確立 (産業廃棄物税充当事業)